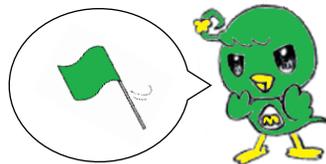




いよいよ2月も末日を迎えました。時の流れは速いもので、今年度も残すところあと1ヶ月です。学校は今まさに各学年の学習のまとめの時期であり、子どもたちの表情からは、ひとつ上の学年へと進級する自覚が伝わってきます。それと同時に、新しい学年への不安を感じることも何ら不思議なことではありません。学校においてもご家庭におかれましても、残りの1ヶ月は「あれができなかった。」ではなく、「こんなことができるようになったね。」と成長をともに喜ぶことを通して、自信という名のお守りを持たせてあげたいものです。

6年生は「卒業」そして「進学」という大きな節目を迎えます。そんな6年生が登校するのは、卒業証書授与式を含めて、あと14日間となります。真美ヶ丘東小学校の卒業生としてのラストスパートを、職員一同、応援してまいります。



弓達先生の思い再び ～弓達文庫お披露目式～

本校には、かつて教鞭を執られた^{ゆだて}弓達先生のご家族に寄贈いただいた「弓達文庫」があります。30年以上の長きにわたり、子どもたちに親しまれてきたこの文庫が、ご家族と図書ボランティアさんの温かいご支援により、装いも新たに生まれ変わりました。これを受け、先日「弓達文庫」のお披露目式を図書室にて執り行いました。

お披露目式では、ご家族の代表である弓達先生のお兄様から、式に参加した図書委員の子どもたちに、「読書を通じて多くの糧を得てほしい。」「夢を追い続ける人になってほしい。」という温かいお話をいただきました。

時を経て、たくさんの人の思いが引き継がれたような、そんなお披露目式になりました。

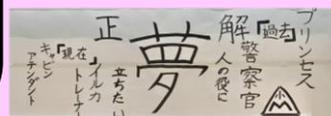


「ありがとう」を力に変えて～6年生を送る会～

2月26日(木)、全校児童が集まり「6年生を送る会」が開催されました。卒業を間近に控えた6年生の先輩たちに対して、1～5年生の後輩たちが心からの感謝を伝える、温かな感動に包まれたひとときとなりました。



- ・5年生、各委員会が中心となって企画・運営をしてくれました。その他の学年にも手伝ってくれる姿がありました。とても立派でした。
- ・各学年とも、練習の成果を発揮しました。6年生への感謝の気持ち、伝わったと思います。
- ・先生たちからも、劇や歌のプレゼントがありました。放課後、仕事の合間をぬって練習していましたよ。
- ・6年生から、下級生に贈る出し物をしてくれました。思いのこもった、すてきな発表でした。



こうした出し物の一つひとつに、目には見えない「ありがとう」の気持ちがぎゅっと詰まっています。それを受け取る6年生のやわらかい眼差し、また、6年生からのバトンを引き継ごうとする下級生たちの真剣な表情、そして体育館に流れた温かな空気が、学校の大きな力になってくれると思います。